

## 健康・医療戦略推進本部

本部長：内閣総理大臣  
副本部長：内閣官房長官及び健康・医療戦略担当大臣  
本部長：その他国務大臣

## 健康・医療戦略推進会議

議長：健康・医療戦略担当大臣  
議長代行：健康・医療戦略担当大臣を補佐する内閣府副大臣  
副議長：健康・医療戦略担当大臣を補佐する内閣府大臣政務官及び内閣総理大臣補佐官（健康・医療戦略室長）  
構成員：関係府省局長クラス

医療分野の研究  
開発関連予算の  
総合的な予算要  
求配分調整等

研究開発

### 創業支援ネットワーク協議会

### 次世代医療機器開発推進協議会

### ゲノム医療実現推進協議会

連携

ICT

### 次世代医療ICT基盤協議会

※健康・医療戦略室とIT総合戦略室による共同事務局

デジタル臨床基盤  
としての利活用

市場開拓

### 健康長寿社会実現協議会(準備中)

### 次世代ヘルスケア産業協議会

※健康・医療戦略室と経産省による共同事務局

### 医療国際展開タスクフォース

### 健康・医療戦略ファンドタスクフォース

新技術

独立行政法人  
日本医療研究  
開発機構  
(AMED: Japan  
Agency for MEdical  
research and  
DEvelopment)

所管 内閣府／文科省／  
厚労省／経産省

# 次世代医療 ICT 基盤協議会 (医療≡医療・介護・健康)

## 問題意識

- 医療分野の高度化と効率化の両立による社会保障給付費の適正化は喫緊の課題。同時に世界最先端の臨床研究基盤を構築し、新しい医療技術・医薬品等を国内外の市場に展開する成長戦略的視点も重要。これらの両立には、臨床現場の徹底的かつ戦略的なデジタル化とともに、生成デジタルデータの戦略的利活用が不可欠。
- 現在、全国規模で利活用が可能な標準化されたデジタルデータは、診療行為の実施情報(インプット)である診療報酬明細書(レセプト)データが基本。診療行為の実施結果(アウトカム)に関する標準化されたデジタルデータを利活用することは、世界的にも重要な課題。(アウトカム=検査結果、服薬情報等)

## 目的

- ①【医療ICT基盤の構築】 アウトカムを含む標準化されたデジタルデータ(以下データ)の収集と利活用を円滑に行う全国規模の仕組みの構築。
- ②【次世代医療ICT化推進】 臨床におけるICTの徹底的な適用による高度で効率的な次世代医療の実現と国際標準の獲得。

## 効果

- 世界最先端の医療行政・医療サービスの実現。医療の状況の正確で精密な把握や遠隔医療による医療資源の偏在の克服等。
- 世界最先端の臨床研究基盤の実現。(独)日本医療研究開発機構と車の両輪で新しい医療技術・医薬品・医療機器の開発が加速。
- 【医療行政・医療サービス】
  - 医療資源の偏在(時間・距離)を克服した全国均一の高度で質の高い診療の実現
  - 科学的な根拠に基づく最適な治療の保険収載
  - 疾病の発生に即応した先制的な行政
- 【臨床研究／コホート研究】
  - 医薬品、再生医療 等、医療技術の開発促進(臨床研究の設計・実施の精密化、大規模化効率化、信頼性向上)
  - 効果的な治療方法の発見や科学的選定。個別化医療の実現。科学的根拠のあるヘルスケアサービスの振興
- 【新技術／新産業創出】
  - 個人のヘルスケアデータを管理・運営するサービス等の新産業創出／新しい医療技術や科学的発見

